



公益財団法人
ドナルド・マクドナルド・ハウス・
チャリティーズ・ジャパン

プレスリリース

2021年6月7日

報道関係各位

公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン

『ハートフルカート』が入院中の子どもとその家族に笑顔をお届け！ 京都大学医学部附属病院および京都府立医科大学附属病院に導入

公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウスチャリティーズ・ジャパンは、入院中の子どもとその家族をサポートいたします

公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン（以下、DMHC 場所：東京都新宿区、理事長：五十嵐隆）は、全国 11 カ所に入院・通院する子どもとその家族のための滞在施設「ドナルド・マクドナルド・ハウス」を運営しております。

DMHC では、2021 年より、支援の拡大を目指し、入院中の患児とそこにご家族をサポートするための活動、「シェアハートプロジェクト」を発足いたしました。本プロジェクトの一環として、昨年より「国立成育医療研究センター」「兵庫県立こども病院」「自治医科大学とちぎ子ども医療センター」の 3 病院にて、入院患児および付き添う家族が必要としている日用品を、子どもたちの「笑顔」のために「ハートフルカート」と名付けたカートに乗せ、無償で配布する活動を始めました。

この度、6 月 4 日（金）に、新たに「京都大学医学部附属病院」にハートフルカートが導入し、今後、「京都府立医科大学附属病院」でも、導入予定となります。



患児向けのおもちゃ、付添家族のためのマスク、アメニティ、癒し系グッズなどの日用品を積んだハートフルカート



DMHC ではハートフルカートの制作費やカートに乗せて配布する日用品等についてご支援くださる企業、団体様を募集しております。詳細は下記 HP をご覧ください。

<https://www.dmhcj.or.jp/wp/wp-content/uploads/2021/05/DMHC2-1.pdf>

■病気と向き合う子どもとその家族のための滞在施設「ドナルド・マクドナルド・ハウス」

現在、全国で難病に苦しむ子どもの数は推計 14 万人とされています。このような子どもたちは、大学病院等の設備・スタッフの揃った専門病院で治療を受けることが多いのですが、これらの病院は基本的には家族の宿泊は認められていないため、家族が病院に寝泊りすることはできません。そのため、多くの家族はアパートを借りたり、ホテルに泊まらなければならず、経済的・精神的な負担を強いられます。

「ドナルド・マクドナルド・ハウス」は、「HOME AWAY FROM HOME」（わが家のようにつづげる第二の家）をコンセプトに、こうした家族の経済的・精神的な負担を少しでも軽減し、安らげる場所を提供いたします。子どもたちが寂しさを感じることなく、元気になろうという力を持ってくれることを願っています。

ハウスの運営は、多数のボランティアの協力を受け、常勤のハウスマネージャーによって行われます。現在、ハウスは、世界 45 の国と地域に 377 か所（2021 年 4 月末現在）に開設しており、国内では日本第 1 号ハウスの「ドナルド・マクドナルド・ハウス せたがや」（東京都世田谷区/2001 年開館）をはじめ、全国に 11 ハウスあります。1 号ハウスオープン以来、延べ 72,717 家族が利用しています（2021 年 4 月末現在）。



■ハートフルカート

入院中の患児とそのご家族をサポートするため、昨年より「国立成育医療研究センター」「兵庫県立こども病院」「自治医科大学とちぎ子ども医療センター」の 3 か所で、入院患児および付き添う家族が必要としている日用品を無償で配布する活動を始めました。グッズを配布するためのカートを作成し、子ども達が「笑顔」になれるようにと、「ハートフルカート」とネーミングいたしました。

ハートフルカートには、主に、入院中の患児が必要とする「文房具」「おもちゃ」「日用品」「絵本」など、また、付き添い家族が必要とする化粧品などの「アメニティ」を中心に乗せて配布しています。2021 年には、「京都大学医学部附属病院」「京都府立医科大学附属病院」の他、静岡県立こども病院にも導入を予定しております。



※自治医科大学とちぎこども医療センター 病棟内でのハートフルカート配布の様子

<報道関係者からのお問い合わせ先>

ドナルド・マクドナルド・ハウス財団 広報担当 山本実香子

080-6985-9005

MAIL: mikako.yamamoto@jp.mcd.com